

時間割コード	G3D21403	開講年度	2026				
授業題目	プラクティカル・イングリッシュ（中級）				担当教員	DALTON COLLEEN HELENE	
英文授業名	Practical English						
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・3時限	対象学生	E【3】
講義室	教育N203講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				英語を使い他者とコミュニケーションを取ることができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	Practical English に引き続き、日常英語やビジネス英語など実用的な英文（広告・案内文・手紙など）を多く読み、日常的な英会話を聞き理解する。併せて、実用的な英語表現・文法・語法・コロケーションの確認、ビジネスや日常場面での頻出語彙の確認、リスニング・リーディングの演習も行うことにより、プラクティカルな受信型の英語コミュニケーション能力（主にリスニングスキル及びリーディングスキル）を養っていく。 結果として、英語資格試験においてグローバル化に対応できることを示す高スコアの取得にもつながる。						
(5)授業のキーワード	Practical English Listening Skill Reading Skill						
(6)授業計画	1. Introduction 2. Personal profiles 3. Academic English and resumes 4. Self-introduction guidelines 5. Answering questions 6. Interview activity 7. Introduction to final 8. Groups, topics, RQs 9. Data collection plans (reading and listening) 10. Background material 11. Survey questionnaires 12. Interview 13. Preparation of materials 14. Reading and listening Course Feedback Questionnaires/授業アンケート 15. Final						
(7)成績評価の方法	1 Weekly tasks (40%) 2 Final (40%) 3 TOEIC IPテストのスコア(10%) （評価点(10%)へのスコア換算式：取得スコア×0.0152【上限10%】） 4 Practical English 9 (Reallyenglish) の自学自習(10%)						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす						
(9)事前事後学習の内容	・この授業は2単位のため、60時間以上の授業時間外学習を必要とします。 Regular listening/reading tasks and vocabulary-building tasks will be completed independently outside class. In addition, the Final Project will require individual and group preparation time beyond that given in the classroom.						
(10)履修上の注意	Active participation and cooperation with classmates are important parts of this class.						
(11)質問、相談への対応	If you have any questions about the required assignments, please use the Q&A Forum on our eALPS page. If you wish to discuss any other matters, please stop by N館222 or send email to cdalton@shinshu-u.ac.jp.						
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみな						

(12)授業への出席	しません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	指定しない
【参考書】	指定しない